様式イ

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-3-5			事業名	フードランド北海道開催費補助
担当	経済局産業振興部産業振興課　只野　011-211-2352				

全体計画（当初）

事業内容

本事業は「地産地消」をテーマに、道産食材の消費拡大と観光客誘致を促進し、関連産業の活性化に資することを目的としている。道産食材の魅力をPRするためには、素材をそのまま提供するのではなく、創作・加工することにより付加価値を加え、新たな北海道の魅力を創造・発信していく場を作っていく必要がある。大通公園や、市内のホテル・レストランなどでイベントを開催し、食に関わる企業のネットワークを構築するとともに、北海道の「食」をアピールしていく。また、元気ビジョンの来客2,000万人という目標を達成するため、「札幌雪まつり」や「YOSAKOIソーラン祭り」などのイベントと並ぶ秋の観光イベントとしての定着を図る。

＜年度別の事業内容＞

＜平成16から年度＞
・大通公園、市内のホテル・レストランで道産食材を使った料理の提供
・「食」をテーマとしたフォーラムの開催
・「料理コンテスト」

事業内容（量・場所・規模等）

平成16年度事業内容（決算）

①「フードランド北海道フェアin SAPPORO（大通公園）」の開催
②市内のホテル・レストランで、流通・飲食・観光などの関連企業と協働し「新たな北海道の味覚」の提案・提供
③「食」をテーマとしたフォーラムの開催やプロの料理人や道民が参加する「料理コンテスト」の実施
　なお、本事業は、札幌商工会議所・北海道新聞・本市を中心に構成される「フードランド北海道実行委員会」が主催・実施するものである。

平成17年度事業内容（決算）

①「フードランド北海道フェアin SAPPORO（大通公園）」の開催。従来どおりの大通り公園5～8丁目での開催の他に、大通公園2丁目に「リンケージ＆フードランド広場」を設置し、リンケージ・アップ・フェスティバルとフードランドの要素が融合した展開を行った。
②市内のホテル・レストランで、流通・飲食・観光などの関連企業と協働し「新たな北海道の味覚」の提案・提供
③プロの料理人が参加する「料理コンテスト」の実施

　なお、イベントを主催・実施する「フードランド北海道実行委員会」には、札幌商工会議所・北海道新聞・本市等の他、今年度から新たに北海道も主催として参画している。

事業内容（量・場所・規模等）

平成18年度事業内容（決算）

①「フードランド北海道フェアin SAPPORO（大通公園）」の開催
②市内のホテル・レストランで、流通・飲食・観光などの関連企業と協働し「新たな北海道の味覚」の提案・提供
③「スイーツ王国さっぽろコーナー」を新たに設置し、32種類の各種スイーツを提供

評価（成果）

①高品質の北海道産食材を使用し、付加価値のある料理を提供することで、北海道の魅力をアピールすることができたとともに、北海道産食材への理解と地産地消の推進につながった。
②食に関わる企業のネットワーク構築に貢献した。

課題

平成19年度から北海道が参加できなくなったことから、フードランド北海道はいったん終了するが、観光客も市民も集まる大通公園で「食のまちさっぽろ」を発信する新たな食イベントを再構築する必要がある。

19年度以降の方向性（事業予定）

現在、札幌商工会議所、北海道新聞、札幌市の3者でフードランド北海道の趣旨を踏まえた新たな食イベントの構築について協議しており、札幌スイーツを中心とした展開をすることで概ね同意を得ている。

様式イ

新まちづくり計画（H16～18） 事業総括調書

(単位:千円)

施策体系コード	1-3-5			事業名	フードランド北海道開催費補助

事業費の推移

項目			16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費		10,000	10,000	10,000	30,000	—
	財源内訳	国・道支出金				0	—
		市債				0	—
		その他				0	—
		一般財源	10,000	10,000	10,000	30,000	—
実績	事業費		10,000	15,000	11,000	36,000	120.0
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	—
		市債	0	0	0	0	—
		その他	0	0	0	0	—
		一般財源	10,000	15,000	11,000	36,000	—

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

[全体][16年度][17年度][18年度]
平成17年度は、フードランドを札幌の秋の観光イベントとしてさらに魅力あるものとするために、大通公園で開催されている「フードランド北海道フェアin SAPPORO」の期間延長や、「リンケージ＆フードランド広場」を設置し、リンケージとフードランドの要素の融合した展開を行ったため、事業費が増加した。
平成18年度については、当初計画から新たに目玉事業として「スイーツ王国札幌推進協議会」による「スイーツ王国さっぽろコーナー」を追加したが、加盟している洋菓子店の多くが小規模な資本な店であり、フードランド実行委員会の予算制約もあった。新たに札幌の食を代表する食べ物として育成する観点から大手だけでなく、小規模な洋菓子店も参加できるよう支援するため、計画より事業費が増加した。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末（現状）	16年度末（実績）	17年度末（実績）	18年度末（実績）	18年度末（目標）

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨	枠内外	16年度	17年度	18年度	計
フードランド北海道開催費補助金	臨時	枠外	10,000	15,000	11,000	36,000
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			10,000	15,000	11,000	36,000